

第424号 12月号 2019.12.20

岐阜県

# 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

## 第3回岐阜県まちゼミフォーラム in 大垣開催

令和元年11月14日（木）13時30分～16時45分、クインテッサホテル大垣（大垣市宮町1-13）に於いて県内商店街関係者や行政、商工会議所、商工会等50余名が参加し第3回岐阜県まちゼミフォーラムを開催しました。

基調講演では、岡崎まちゼミの会 松井洋一郎代表から「全国400地域に広がる、これからのまちゼミ」と題して講演がありました。

廃業2店舗、創業1店舗という現状の中、まちゼミはお店に力をつけることができます。三方よしの活性化事業であり、個店は新規客・売り上げのアップ、お客様は満足・幸せになる、商店街は街の発展に繋がる事業です。来街者を増やすのではなく、多くの店舗で来店客を増やす事業です。

また**感動値を向上させることができ、感動は品揃えや立地・価格に勝るので、まちゼミから価値創造型の取組をしていくことが必要であり、例えば床屋さんで女性の顔そり、化粧品店でのエステ、飲食店での料理教室を事例として説明**されました。



▲フォーラムの様子

事例発表では、八王子まちゼミの会 実行委員長 今井治氏と田辺のまちゼミ「まなべる」実行委員会 実行委員長 米倉富美子氏から「私の街のまちゼミ こんな風にやっています」と題して発表がありました。

今井 治氏からは、チラシのデザインを若者向きに大幅に刷新したところ、まちゼミ参加者の年代が下がったこと。「講座作成カルテ」により、自店舗に来てほしい顧客層、講座の目的、結果等が明確になり、次のまちゼミへの改善に繋がっていること等をお話されました。

また、「まちゼミのまちゼミ」は、まちゼミの参加に興味がある店舗に対してその魅力や効果を説明し、参加していただくきっかけづくりをしています。

米倉富美子氏からは、田辺市の商店街の現況やまちゼミの状況、人気のあるまちゼミ等の説明がありました。

パネルディスカッションでは、「小さなお店が果たす、これからの地域での役割」と題して行い



▲パネルディスカッションの様子

ました。

小さなお店は今後残っていくのかという問いには、「残す必要がある、商人の本分を貫く必要がある。」「今後残っていくには、チェーン店にはない地域に特色のある店舗にならなければならない。」「という意見がありました。

まちゼミを通して、個店のお客様づくり、個店を覚えてもらっているといった感想があり、まちゼミは個店にとってのメリットが大きいで

す。

参加店舗が増えないといった課題もありましたが、枠組みを商店街からもう少し広くするのかどうかということや、恵那では仲間まちゼミを開催していること、八王子の「まちゼミのまちゼミ」が再度紹介されました。

17時から、名刺交換交流会を開催し、情報交換を行いました。

## 商店街がアジアンテイスト一色に クラブ柳ヶ瀬

◆主催：メ〜テレ ◆共催：岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

11月9(土)、10(日)の両日、岐阜市の柳ヶ瀬商店街一帯では「クラブ柳ヶ瀬ーメ〜テレアジアントリップナイトー」を開催しました。旧長崎屋ビルを2日間限定のナイトクラブに変身させ、大通りに食・物販の屋台を並べることによって、柳ヶ瀬商店街をカンボジアの繁華街「シェムリアップ」のようにしてしまおうというイベントです。

### ■トウクトウク走る！

カンボジアやタイ、インドネシアなど南アジア・東南アジアでは三輪タクシーが生活の足として活躍しています。三輪タクシーは国によって呼び方が違っており、わたしたちになじみ深い「トウクトウク」はタイでの呼び名だそうです。日本の郵便収集車が三輪トラックから四輪

に切り替えられたとき、中古の三輪トラックがタイに輸出されたのが起源といわれていますので、日本との縁も深い乗り物です。

クラブ柳ヶ瀬でも、もちろんトウクトウクは活躍していました。側面のカバーには、クラブ柳ヶ瀬にちなんだ金融機関のメッセージが書いてあるものや、主催者メ〜テレの番組名が大きく書かれているもの、クラブ柳ヶ瀬に出店している大手飲料メーカーのものなど、わたしが目にただけでも3台のトウクトウクが軽快な音を立てながら走っていました。

### ■少し怪しい魅力

食・物販のメイン会場は、「インバウンド・マーケット」と名付けられた柳ヶ瀬本通りです。およそ30のブースが立ち並びました。パクチー料理や台湾焼きそばなど、アジアンテイストにあふれた商品だけでなく、扱っているものが地元岐阜の銘菓だったり、アメリカやヨーロッパの古着だったり、一見、統一感のないお店ばかりです。逆に、これがアジアの繁華街を体現しているといえるでしょう。

クラブ柳ヶ瀬では有名企業のブースも出ていました。大手ビールメーカー、自動車販売会社、たばこメーカーなどが新しい自社商品のPRを実施していました。特に酒類はナイトクラブにも相性が良いため、来場者も多く利用している



▲待機するトウクトウク



▲インバウンド・マーケットの様子

ようでした。

両日とも15時から旧長崎屋ビルがナイトクラブに変身しました。9日5組、10日5組の計10組のアーティストによるライブが開催され、薄暗い室内に鳴り響く音楽は、まさしく「クラブ」と呼ぶものにふさわしいものです。

以前、取材している中で「柳ヶ瀬には昼の顔と夜の顔とが存在する」というお話を伺ったことがあります。ナイトクラブの雰囲気は、柳ヶ瀬の夜の顔ともぴったりでした。

## 城下町大垣きもの園遊会と同日開催 元気ハツラツ市

◆主催：大垣市商店街振興組合連合会

11月3日(日)、大垣市の駅前商店街一帯で「元気ハツラツ市」を開催しました。毎月第一日曜日に開催している元気ハツラツ市。12月から2月までお休みしますので、今回が2019年最後のハツラツ市です。当日は大垣市観光協会主催「城下町大垣きもの園遊会」と同日開催で、多くの方が訪れました。

### ■園遊会は楽しみがいっぱい

大垣は江戸時代、戸田氏十万石の城下町として栄えました。東海道の熱田宿と中山道の垂井宿とを結ぶ美濃路の宿場町でもあり、美濃路沿いには数多くの呉服店が軒を連ねていたといわれています。「きもの園遊会」は歴史情緒のあふれる大垣の街並みを着物姿で楽しむことを目的に、春と秋に開催しています。毎回、元気ハツラツ市と連携して実施しています。

「きもの園遊会」で参加者の皆さんが楽しみにしているのが、大垣城の天守閣側で催している大茶会です。着物を着ている方は無料で呈茶券をもらい、お抹茶とお菓子とを頂くことができます。紅葉には少し早い時期ですが、お城の木々に囲まれた自然豊かな中で、普段とは異なる着物姿で頂くお茶は格別な味がしたことで

しょう。



▲大茶会の様子

「きもの園遊会」のもう一つの楽しみは、「お楽しみ抽選会」です。街中の呉服屋さんなどをめぐり、スタンプを集めるとバスツアーなど豪華な賞品が当たります。しかも、チェックポイントの店舗では「おもてなし」を受けることもできるため、大勢の方が参加されていました。抽選会では当選者が発表される度に拍手が起きていました。

### ■メインステージも大盛況

元気ハツラツ市のメインステージでも、多彩な発表がありました。開会宣言に始まり、ダンス



▲ダンスステージのひとこま

ステージ、アイドル歌手によるライブ、演歌歌手によるコンサートなど、道を行く人が足を止め

て見入っていました。ダンスのステージでは出演者だけではなく、周りで見ている方も一緒に手拍子をしたり、踊ったりと、大いに盛り上がりました。

ステージでひと際衆目を集めたのは、女優、池上季実子さんのトークショーです。残念ながら写真撮影は禁止とのことでご紹介することはできませんが、「きもの園遊会」に合わせて着物姿で現れた池上さんは、お仕事から趣味まで、普段のテレビ番組などからは知ることができない一面を見せてくれました。大盛況でトークショーは幕を閉じました。

今年の「元気ハツラツ市」は今回で終わり、次回は来年3月に開催予定です。

## 女性が主役のイベントが商店街に 濃姫まつり

◆主催：濃姫まつり実行委員会 ◆後援：岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

11月23日（土・祝）、岐阜市柳ヶ瀬商店街とショッピングモール「マーサ21」で、「第一回濃姫まつり」を開催しました。柳ヶ瀬会場では「女性が主役」、マーサ21会場は「女性をおもてなし」をテーマに、それぞれ趣向を凝らしたステージイベントを展開しました。わたしは柳ヶ瀬会場にお邪魔しました。

### ■なぎなたのパフォーマンス

柳ヶ瀬会場のメインステージは、旧長崎屋前に設置しました。11時から始まるステージは、アイドルによるコンサートが皮切りです。出演したのは、G I F 3 9 s の皆さん。岐阜のご当地アイドルとして地域を盛り上げるため、岐阜県内に留まらず県外のイベントにも参加しています。「女性が主役」のテーマのとおり、明るい歌声をアーケード中に響かせ、観客も大きな拍手・声援を送っていました。

続いて実演されたのは、岐阜県なぎなた連盟によるなぎなたパフォーマンスでした。「濃姫まつり」の名の由来になった織田信長の正室・濃姫は、なぎなたが得意だったという言い伝えがあります。その縁で、今回のパフォーマンス披露

になりました。



▲リズムなぎなたの披露

なぎなたと聞くと武道のイメージが強いのですが、今回ステージで発表されたのは「リズムなぎなた」という音楽に合わせて型を披露するパフォーマンスでした。人気曲「パプリカ」に合わせてなぎなたが前後に倒れたり、演者が円を描くように歩を進めたりする様子は、華やかなダンスを思わせるものがあります。見ごたえのあるパフォーマンスに、観客から大きな拍手が起きました。

## ■輝く女性を書で表現

午後のメインイベントは、河口瑛泉さんによる書道パフォーマンスです。河口さんは書家として活躍する一方、県内の数多くの教室で書道



▲河口瑛泉さんによる「輝」の書

を教えている「輝く岐阜の女性」です。当日はステージ前にブルーシートを敷き、その上に大判の用紙を広げて揮毫します。

河口さんが手に持ったのは、箒を思わせるような大筆でした。バケツに入った墨液を筆に含ませると、力強く紙に筆を押し当て、太い文字を描いていきます。筆を替えて一画加え、落款を押して完成です。出来上がった書は、一点が金色に光る「輝」という文字です。河口さんによると、女性が輝く願いを込めたとのことでした。

当日は、ステージのパフォーマンス以外に、柳ヶ瀬商店街近隣のカフェで「濃姫スイーツ」を限定販売しました。参加店舗がそれぞれ工夫を凝らしたスイーツとあって、来店者から好評を博していました。

濃姫まつりは次回は、3月に開催予定です。

## 大通りがみんなの公園に ヤナガセパークライン

◆主催：岐阜市 ◆企画運営：柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社

11月17日(日)、岐阜市では「トランジットモール2019」を開催しました。今年のトランジットモールは、舞台を昨年までの長良橋通りから金華橋通りに移し、「公共交通フェスタ」に加えて「ヤナガセパークライン」というイベントを実施しました。

### ■1日限りの遊べる道路

「ヤナガセパークライン」のコンセプトは、「1日限りのあそべるどうろ」です。金華橋通りの南向き2車線のうち1車線を歩行者天国として開放し、来場者が道路を公園のように楽しむことを目指しました。

北のエリアは「プレイエリア」とし、スケートボードのレーンが作られていました。全国から集まったスケボー選手が見事な演技を見せます。ザーッ、ザーッとスケボーの車輪がアスファルトを転がり、レーンに設置された障害物の上でジャンプ。成功すると大きな拍手を受けていました。



▲小さな子のスケボー体験

体験会も開かれ、小さなお子さんもスケボーに挑戦していました。恐る恐るスケボーに乗るお子さんをトレーナーが介助し、スケボーの楽しさを教えていました。お子さんも少しずつスケボーに慣れていったようです。

### ■音楽や落書きなどの体験も

南のエリアは「アート／ワークショップエリア」です。特にお子さんを対象に体験型のワーク

ショップを提供していました。わたしが伺ったときには、柳ヶ瀬商店街の「サンデービルディングマーケット」でもおなじみの「チュラパンスティールバンド」の皆さんが「パプリカ」を演奏していました。聴衆の中には曲に合わせて踊っている子も。

移動型ラボ「mobium」は車体が黒板になっていて、自由に落書きができるようになっています。バスの車体に絵や字をかく体験は、子どもたちにとって新鮮です。さっそく子どもたちがチョークを手に、思い思いに表現します。たちまち大きな車体が白い文字・絵で埋め尽くされました。

そのほかにも、人工芝を敷いたリビングエリアではハンモックやバーベキューを体験したり、芝の上に座って弾き語りを聞いたり、ゆったりと過ごせる空間が出来ていました。来場者は思い思いに芝生の上に座り、くつろいでいました。



▲バスの車体に落書き体験

お買い物エリアでは普段、サンデービルディングマーケットに出店している方々がブースを出店し、こちらにもぎわいを集めていました。

【取材・記事 中小企業診断士 山田圭介】

## ■青年部・女性部人材育成事業のお知らせ

商店街の活性化のためには、これからの商店街を担う若手後継者や女性の育成が不可欠であり、商店街青年部や女性部における人材育成や活動を支援していく必要があります。当事業は、参加者の知識・見聞を深め、今後の商店街活性化を担っていく人材を育成することを目的としています。

この度、第2回勉強会を開催する事となりました。参加希望者は市商連又は県商連までご連絡ください。たくさんのご参加をお待ちしております。

### 第2回勉強会

日時：令和2年1月27日(月) 14:00～16:00

場所：OKBふれあい会館 403会議室（岐阜市藪田南5-14-53）

テーマ：「街の活気づくり」

「街自体に活気がなければ、個人商店は成り立たない」

講師：株式会社テラスオフィス 専務取締役 高岡はつえ氏

株式会社道家経営・法務事務所 代表取締役 道家睦明氏

## ■事務局より

いよいよ寒くなって参りましたがいかがお過ごしでしょうか？今年も残すところ2週間を切りました。今年の大きな出来事としてはやはり新天皇陛下の御即位ではないでしょうか。そして商売という意味では消費税増税。軽減税率は消費者としてもまだ慣れておらず、レシートを見て「そうかあ。」と思うことが多々あります。

来年はオリンピックイヤー！明るい話題がたくさんになるといいですね。

皆さん、良いお年をお過ごしください。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。